

第1回TICADV閣僚会合
全体会合1「横浜行動計画2013－2017の進捗状況」
岸田外務大臣基調演説

平成26年5月4日

議長ありがとうございます。

御列席の皆様、

TICAD共催者を代表して、行動計画別表への施策を表明していただいたアフリカ及び開発パートナーに、改めて厚く御礼申し上げます。

日本は、TICADVにて今後5年間で官民あわせてODA1.4兆円を含む最大約3.2兆円の対アフリカ支援パッケージを発表しました。その期間の最初の1年である昨年1年間で、ODAについては総額35.1億ドル、その他の取組では総額20.8億ドルの実績がありました。ODAの実績は5年間の支援パッケージの4分の1にあたり、日本は、約束したことを想定していたスピードを上回るペースで実施しています。また、平和と安定に関し、紛争・災害対策のため5.5億ドルの支援を実施しました。詳細については、お手元に配布してある「ファクトシート」をご覧ください。2014年についても、補正予算による3.5億ドル規模の支援の実施を含め、着実に実施してまいります。

この度、日本はアフリカの民間セクター支援のため、アフリカ開発銀行に3億ドルを供与することを決定しました。この支援を通じ、アフリカの成長を支える民間セクターが一層発展することを期待いたします。

日本は、アフリカとの約束を遵守することをTICADプロセス開始以来の一貫した信念としています。日本は、市民社会とともに官民一体となって、アフリカの成長を力強く後押しし、表明した支援を着実に実施してまいります。

行動計画別表の内容及びモニタリングの方法については、同席している日本代表団から説明いたします。

御列席の皆様、

ここで私は申し上げたいことがございます。それは、この行動計画はアフリカの力強い取組があってこそ実現していくものだということです。行動計画別表は、アフリカ連合（AU）が主導する具体的取組をTICADプロセスに取り込むことで、各々の施策を効率的に連携させようとする革新的な試みとなっています。

我々は、アフリカの成長には、民間セクター主導による成長が必要だということをTICADVで確認しました。民間セクターによる貿易・投資の拡大のためには、現地、すなわちアフリカにおける投資環境改善、とりわけ自由で安全な投資環境整備が必要です。日本は、インフラ整備、人材育成、法制度支援などの様々な方法を通じてアフリカ側の努力を支援してまいります。アフリカ側にも、投資環境の改善に向けた更なる取組をお願いしたいと思えます。

TICADプロセスを通じて集約されたアフリカの声は、国連やG20等の他の国際フォーラムに広げなければいけません。本セッションは、TICADVで掲げた成果目標の達成について、閣僚レベルで再確認する貴重な機会です。この閣僚会合での成果を踏まえて、アフリカと日本を含む開発パートナーとで連携の強化を図っていかうではありませんか。これによりTICADVで掲げた成果目標を国際社会の中にも広げ、その成果を活かしていくことが可能となります。

TICAD共催者を代表して、行動計画別表、別表サマリー及び年次進捗報告書作成ガイドラインをご承認いただき、成果目標の実現に向けてアフリカと国際社会が一致協力して、各々の施策を着実に実施していくことを呼びかけたいと思えます。

ありがとうございました。

（了）